

保険者機能強化推進交付金を活用した保健福祉事業

1. 認知機能検診事業

(1) 事業概要

認知症の予備群と言われる軽度認知障害（MCI）を早期に発見するため、認知機能検診を実施し、高齢者の認知症予防の取り組みを推進する。

(2) 対象者

市内に住所を有する第1号被保険者で、物忘れに不安のある等認知機能低下が疑われる者。（但し、既に認知症の診断を受けている者及び介護認定を受けている者を除く。）

(3) 検診内容

- ・問診（長谷川式簡易知能評価又はMMSE検査）
- ・MCIスクリーニング検査（血液検査）

(4) 検診機関

射水市内の認知症初期集中支援チーム医師が属する5つの医療機関

(5) 検診料

問診及び血液検査にかかる費用の全額を市が負担する。一人当たり20,800円（但し、医師の判断により血液検査を実施せず、問診のみの場合は4,000円）

(6) 検診の事後管理

認知症の状況に応じて、二次医療機関の紹介や地域包括支援センターの訪問による状況確認を行う。また、受診者全員に、予防効果があると言われている「地域の集いの場（きららか射水100歳体操等）」への参加を勧奨する。

(7) 予算額

6,910千円

2. 足洗瀉公園介護予防健康器具設置事業

(1) 事業概要

「温泉資源を核とした「ごちゃまぜ」による共生と生涯活躍、健康長寿のまちづくり推進事業」(事業期間：平成31年度～令和3年度)の足洗瀉公園再生の一環として、公園内に高齢者向けの介護予防に資する健康器具を設置することで、誰もが気軽に介護予防に取り組める環境を整備し、健康長寿のまちづくりを推進する。

(2) 健康器具の内容

- ①指導者なしでも実施できるよう、見た目で使用方法が分かりやすいもの
- ②上下肢や体幹のトレーニングができるもの
- ③有酸素運動に有効なもの

【例】



ぶら下がり(懸垂)器具



シニア向けスクワット器具



踏み台昇降器具



座位による腰のストレッチ器具



上半身のストレッチ器具

(3) 予算額 4, 198千円